

平成 31 年度事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

公益財団法人 致道博物館

令和 2 年 6 月 8 日

概 況

平成 31 年度は 5 月 1 日に元号が改元され、新しい年号は「令和」と定められた。そのため 5 月のゴールデンウィークは 10 連休となり、ここ数年にない多くの来館者があった。

6 月 18 日午後 10 時 22 分には、山形県沖地震 (M7. 6、最大震度 6 強) が発生し、鶴岡市街地は震度 5 弱に見舞われた。館内の重要文化財旧西田川郡役所及び同旧鶴岡警察署庁舎の漆喰壁等に多数の亀裂が入り、甚大な被害を被った。その後、鶴岡市の協力を得て旧鶴岡警察署庁舎の災害復旧工事を終了したが、旧西田川郡役所は令和 2 年度以降、国庫補助による災害復旧事業として行う予定である。

年が明けた令和 2 年 2 月以降は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、全国的に感染拡大防止のため自粛要請や学校の閉鎖などが行われた。当館でも展覧会関連イベントや東京友の会の集いなどを中止、入館者数が激減した。現在でもその終息は見られず、移動の制限や経済活動の縮小が続いている。このような状況下での平成 31 年度の事業概況を下記のとおり、報告する。

公益目的事業 1 の重点事業 (1) 重要文化財旧西田川郡役所美観向上整備事業では、平成 29 年 3 月大風によって破損した一階南の棟端飾りを建物から外し、新たに作成した棟端飾りを設置した。当該事業は 2 ヶ年の継続事業である。重点事業 (2) 松ヶ岡開墾場旧四番蚕室の旧庄内農具館に保管していた民俗資料やアジア・アフリカの楽器類等の移転について、7 月下旬から 9 月上旬にかけて行った。鶴岡市の協力により旧鶴岡市羽黒第四地区地域活動センター内集会室を借用、庄内の米作り用具収蔵庫と併せて 2 ヶ所へ移転した。昭和 50 年代から当館が借用・所有していた売却済の旧四番蚕室の建物は、10 月上旬に鶴岡市への明け渡し完了した。重点事業 (3) 鶴岡市文化資源調査では、『大泉叢誌 (6)』を刊行した。

保存管理事業では、例年のように指定文化財建造物の外壁ペンキ塗装や屋根の差し茅などの小修理、庭園の除草清掃、樹木剪定整姿、雪吊り雪囲いなどを行い、また博物館資料も状況に応じて適正な保存管理に努めた。また、教育普及事業では、講演会、講座、教室、合同茶会などを開催し延べ 919 名が参加受講した。

公益目的事業 2 の展示事業では、特別企画展 (山形県・(公財) 山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催) 9 件、個展・グループ展 2 件、ロビー展 4 件の展覧会を実施した。併せてこれらの展覧会に関連するギャラリートーク、ワークショップ、実演などを実施し、好評を得た。特に 4~6 月には「磯貝吉紀ドールハウスセレクション」は 14, 144 名 (236 名/日)、同時開催した「世界の YOSEGI」は東北初公開の資料約 200 点を出品、期間中 5 月上旬の 10 連休もあり、13, 972 名 (241 名/日) の来館者があった。また、9~11 月開催の「出羽国庄内藩主 酒井家名宝」では伝来の国宝太刀や重文甲冑などの武器類、黒川能装束や茶道具類を出品、期間中台風の影響も受けたが「刀剣乱舞-ONLINE-」とのコラボイベントや「刀剣講座」等も開催し、期間中計 9, 797 名 (245 名/日) の入館者があった。また、8~9 月の「戦国の庄内」では計 6, 964 名 (166 名/日)、11 月の「現代刀職展」では計 3, 611 名 (164 名/日)、7~8 月の「稲田美織出羽三山写真展」計 5, 503 名 (125 名/日) が好評であった。近年にない入館者数の増加が期待されたが、年明け 2 月以降、新型コロナウイルス感染拡大防止により入館者数が激減し、年間入館者数は 49, 738 名 (144 名/日) で、昨年度比 102. 7%にとどまった。

公益目的事業 3 は鶴岡市から指定管理者の指定を受けた保存活用事業で、国指定史跡旧致道館 (旧庄内藩校)、及び大宝館の施設保存管理、展示、普及教育事業等を例年のとおり実施した。致道館では「致道館文化の学習と庄内論語の素読」と題した教育体験講座や研修会、また学校の課外授業での施設利用が多かった。大宝館では前年度に行っていた大規模改修の影響もあって 8 月に実施した「大宝館夏休みフェスタ!」(クイズラリーや展示人物総選挙など) が好評を得た。なお、6 月の山形県沖地震による被害が大きく、9 月から 11 月にかけて鶴岡市が大規模修繕を行った。

最後に、当館ゆかりの洋画家で前京都・真如堂貫主の斎藤眞成氏が 11 月 19 日、鶴岡市名誉市民で彫刻家・富樫実氏が 12 月 25 日に逝去された。哀悼の意を表する。

1. 公益目的事業 1

(事業内容～歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、常設展示や教育普及活動を行う事業)

1-1 重点事業

(1) 重要文化財旧西田川郡役所美観向上整備事業

平成 29 年 3 月の大風により、旧西田川郡役所 1 階屋根南側の棟端飾り（ファイニアル）の銅板がめくれ落下した。応急処置を施したが、経年劣化により腐食した箇所が多数確認できるため、棟端飾りを外して銅板を張り替えし、再設置することとした。なお、銅板を取り外した際、木下地に著しい腐食が確認されたため、文化庁より計画変更の承認を受けて再利用が難しい部分の木下地の取替を実施した。本事業は文化庁の「美観向上整備事業」2ヶ年の継続事業の1年目である。

(2) 松ヶ岡施設内(旧四番蚕室)の資料等移転事業

史跡松ヶ岡開墾場内の旧四番蚕室(平成 29 年 3 月に鶴岡市へ譲渡済)は、平成 30 年 11 月まで「庄内農具館」として公開していたが、令和元年 12 月末までに鶴岡市へ施設内の資料(農具等の民俗資料や外国の楽器など)を移動し建物を明け渡すこととなった。これらの資料を隣接の「庄内の米作り用具」収蔵庫及び借り上げた近隣の鶴岡市所管施設への移動事業である。

(3) 鶴岡市文化資源調査事業

鶴岡市の補助事業として、公益性の高い文化資源を社会に還元するために、当館所蔵の歴史資料などを調査研究した。今年度は山形県指定文化財『大泉叢誌』の筆写・解読・点検・データ入力を実施して活字化、『大泉叢誌(6)』300冊を出版した。また、『出羽庄内酒井家文書目録』未収載の古文書約 50 点を解読整理した。

1-2 保存管理事業

(1) 指定文化財の保存管理事業

①重要文化財建造物の保存管理

重要文化財旧西田川郡役所・同旧渋谷家住宅・同旧鶴岡警察署庁舎の防災設備(自動火災報知設備・消火設備・避雷設備)、電気設備等の保守点検、ペンキ部分塗装・差し茅・グシグラ修繕などの小修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

②名勝酒井氏庭園の保存管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取り替え修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

③国・県・市指定文化財の保存管理

絵画・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料、重要有形民俗文化財など指定文化財の保存管理に万全を期するため、収蔵室の適正な環境保持、定期的な清掃、刀剣類などの手入れ等を実施した。

④史跡松ヶ岡開墾場内の一番蚕室(松ヶ岡開墾記念館)・四番蚕室(旧庄内農具館)の防災設備の保守点検を実施した。

(2) 博物館資料の保存管理事業

① 歴史的建造物等の保存管理

御隠殿・民具の蔵などの歴史的建造物や重要有形民俗文化財収蔵庫などの防災設備、電気設備の保守点検を実施した。

夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を2回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

② 博物館資料の保存管理

博物館資料の維持管理として適正な環境保持、定期的な清掃、軸装・額装・冊子資料の補修・修理、手入れなどを実施した。また、寄贈申込みのあった資料や作品について適正な受け入れと資料台帳の整備を進めた。

③ 松ヶ岡施設の展示収蔵資料の保存管理

羽黒町松ヶ岡の重要有形民俗文化財庄内の米作り用具収蔵庫の資料を保存管理し、松ヶ岡開墾記念館の収蔵・展示中の資料のリスト作成に協力した。

1-3 展示事業

常設展示事業

指定文化財や歴史的建造物などを利用してテーマ別に常設展示している考古・歴史・民俗資料及び美術工芸品の一部を入れ替え、説明板・キャプションの改訂を行った。

1-4 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業・その他

① 公開講演会(日時・場所・内容)

東京友の会の集い・講演会 令和2年3月8日(日) 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)
「城下町鶴岡のまちづくり」 講師 佐藤滋氏(早稲田大学名誉教授/千葉県在住)

上記、開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止し、講演会は来年度へ延期した。

② 土曜講座(日時・講師・演題)

8月3日(土) 「飛島の暮らしと環境 -大地・自然・ヒトのつながりで見ると飛島の魅力-」
岸本誠司氏(鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会主任研究員) 参加者 56名

9月3日(土) 「戦国期庄内における地域領主の外交」 菅原義勝(当館主任学芸員) 参加者 61名

10月3日(土) 「『松平家忠日記』にみる酒井忠次」 久保田昌希氏(駒澤大学文学部教授) 参加者 43名

③ 中国古典講座

日時 4月～12月の毎月7日(8回開催)

内容 中国古典「論語」の講義並びに「詩経」の素読

講師 犬塚幹士(当館顧問(講義))、水野貞吉(荘内南洲会理事長(素読))

受講生 11名(一般) 延出席人数 75名

④ 古文書講座「もんじょ部」

日時 4月～翌年3月まで、月1～2回開催 計15回

内容 『出羽庄内酒井家文書目録』所収の古文書をテキストに古文書の読み方の解説や輪読、

当館所蔵文書の整理を行った。

講師 菅原義勝主任学芸員 受講生 8名 延出席人数 98名

⑤その他

- ・館報「致道」56号(3000部) 令和2年2月発行
- ・『大泉叢誌(6)』(300冊) *前述 令和2年3月31日発行

(2) 伝統文化普及事業

- ①各流合同茶会 6月16日(日) 於:致道博物館(御隠殿・旧鶴岡警察署庁舎多目的ホール・講座室)
表千家・裏千家・遠州流・大日本茶道学会による四席の合同茶会 参加者 316名
- ②少年少女古典素読教室(鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議と共催)
5月下旬～8月上旬の毎週土曜日、7月下旬～8月上旬の毎日早朝(5:40～6:15) 計15回開催
『論語抄』の素読
講師 水野貞吉氏(致道館文化振興会議)、三矢正士氏(同左)、加藤徹三(致道博物館)、
富樫恒文(藩校致道館)、酒井英一(致道博物館)、本間 豊(同左)
受講生 9名(小学4年生～中学3年生) 延出席人数 104名
7月7日 史跡文化財巡り(正善院黄金堂、出羽三山神社、松ヶ岡開墾場の見学)
- ③「令和元年度東北文化の日推進事業」の参加(事務局 山形県県民文化スポーツ課内)
「東北文化の日」(10月最終の土・日)に合わせ、10月26日～11月24日の土・日の小中学生を
入館料無料 参加数 計98名
- ④姉様人形教室(庄内姉様人形保存会主催)、刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催)
及び庄内民俗学会の例会の会場として会議室等を提供。

(3) 教育啓蒙事業

- ①ボランティア解説員(展示品の解説)の活動 5月～11月、3月(180日間)
解説員 8名 延活動人数 169名
- ②博物館学芸員の育成(実習生の受け入れ) 8月7日～8月12日
実習生/宮城女子大学2名・成城大学1名 計3名
実習内容/美術工芸品(掛軸・巻物・刀剣など)の取り扱い、企画展展示・撤収作業、古文書資料の
整理と保存、拓本技法、美術展の企画と著作権、近隣文化施設見学等
- ③研修会・視察等の受け入れ
11月27日(水) 重要文化財所有者による防災設備関連の先進地視察
参加者/文化財建造物技術保存協会及び岩手県遠野市文化財関係職員 他) 8名
研修内容/当館に設置された防火防犯設備の見学及び民家への自動放水演習の視察
- ④先賢を偲ぶ会 令和2年2月15日(日) 於:御隠殿、講座室(直会)
内容/拝礼・講話
「鱸成信資料からみえる西郷隆盛」 講師 今野 章氏(鶴岡市郷土資料館) 参加者 40名

⑤博物館資料や郷土史関係等の相談助言 通年 相談件数 20 件

相談内容/ 書跡・古文書の解読や酒井家文書及び刀剣の保存などに関すること

⑥庄内民俗学会・日本美術刀剣保存協会庄内支部など学術学会の活動に協力

⑦広報活動 文化財・博物館資料の啓蒙 通年

各種事業の実施にあたっては、新聞・テレビ・地域情報誌などの報道機関や鶴岡市広報などに情報提供を行い、取材協力依頼につとめた。また、類似施設や市内各所へ広報印刷物を送付し、広報の協力を依頼した。新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット（ホームページ）などを活用して周知を図った。特にSNS（主にツイッター）を利用し、各種情報発信のみならず、館の魅力を伝えることに努め、好評を得た。

1-5 調査研究事業

(1) 文化資源調査事業（前出）

(2) 庄内地方の歴史資料・考古資料・民俗資料・美術資料の調査研究整理

(3) 和歌・俳諧資料の調査協力

2. 公益目的事業 2

（事業内容～優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業）

2-1 展示事業

(1) 企画特別展示事業(主催事業) 於:美術展覧会場

☆印:山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催

◇印:(公財)日本美術刀剣保存協会共催

①☆旧庄内藩主酒井家美術資料展

4月1日～4月15日(15日間) 入場者数:一般2,460名/児童生徒学生159名/計2,619名
徳川四天王の一人・酒井忠次を祖とする酒井家は江戸初期の元和8年(1622)に藩主として入部。以来250年間近く当地の領国経営をしてきた。本展は大名酒井家に伝来の美術工芸品や歴史資料を展示。今回は9代忠徳・10代忠器が関わった藩校致道館の祭器(県文)や祖徠先生答問書(重美)など計43点を出品、貴重な文化財や資料を展示するとともに郷土学習の一助とした。

②☆磯貝吉紀ドールハウスセレクション (会場:重文旧鶴岡警察署庁舎1階多目的ホール)

4月12日～6月10日(60日間) 入場者数:一般12,887名/児童生徒学生1,257名/計14,144名
観る人に時間と空間を超えた生活を空想体験させるドールハウス。目を疑うほどの精密さで忠実に縮小された家具・小物たち…、これらは小さな世界を見事に表現している。日本でのドールハウス作家・研究家の第一人者の故磯貝吉紀氏(1933～2011)が制作した作品は一昨年当館に寄贈された。本展はその中から17点を出品し、豊かな遊び心と幻想的な世界に満ちた世界を鑑賞した。期間中、磯貝三枝子夫人などによるゲストトークを開催した。

③☆世界のYOSEGI “金子皓彦 寄木細工コレクション”

4月20日～6月16日(58日間) 入場者数:一般12,750名/児童生徒学1,222名/計13,972名

日本が誇る木工芸品「寄木細工」。緻密な技術が織りなす美しさに多くの欧米人が魅了され、幕末から明治時代にかけて大量に外国に輸出された。本展では、世界一のコレクターで神奈川県在住の金子皓彦氏が収集した10万点に及ぶ作品の中から、現存する日本最大の作品「ライティング・ビューロー」を含む選りすぐりの貴重な作品188点を出品した。全作品東北初公開で、期間中、金子氏のギャラリートークや記念講演会、及び寄木細工職人・篠田英治氏のワークショップも開催した。

④ ☆ミラクル！祈りの眼差し 稲田美織出羽三山写真展

6月22日～8月4日（44日間） 入場者数：一般5,135名/児童生徒学生368名/計5,503名
東京都出身で気鋭の写真家・稲田美織氏は世界中の美術館などで作品発表し、活躍の場を広げている。2001年、ニューヨークを拠点に活動中、同時多発テロを目撃して以降、世界中の聖地を撮影している。2005年からは伊勢神宮の式年遷宮の撮影を開始し、以後ライフワークとなっている。本展では近年撮影した羽黒山や修験、出羽三山の写真56点を紹介した。期間中、稲田氏のギャラリートークを開催した。

⑤ ☆戦国の庄内 ～大宝寺・上杉・最上争乱の果て～

8月13日～9月23日（42日間） 入場者数：一般6,577名/児童生徒学生387名/計6,964名
戦国時代の庄内地域は、鎌倉時代以来庄内の地を治めてきた大宝寺（武藤）氏を中心とする諸領主が割拠していた。時代が進むにつれ、内陸の最上氏や越後国上杉氏が庄内へ進出するようになり、相克の場と化して江戸時代へと向かう。本展は武将たちの古文書や兜などの遺品ほか計55点を出品し、戦争と平和の連続に形作られた知られざる「戦国の庄内」の様子を紹介した。戦国史研究会鶴岡大会に協賛するとともに担当学芸員による講座やギャラリートークを開催した。

⑥ ☆出羽国庄内藩主 酒井家名宝

9月26日～11月4日（40日間） 入場者数：一般9,130名/児童生徒学生667名/計9,797名
徳川四天王筆頭の藩祖・忠次所用の国宝「太刀銘信房作」や重文色々威胴丸、3代忠勝所用の重文短刀銘吉光（名物信濃藤四郎）や甲冑などの武具、無準禅師筆「潮音堂」（重文）をはじめ、茶器や伝来の水墨画や狩野派の絵画計58点を出品し、庄内藩主酒井家に伝来した大名道具等を展示した。期間中、藩祖・酒井忠次に関する講座やギャラリートークをはじめ、「刀剣乱舞-ONLINE-」コラボイベント、刀剣講座、戦国ワークショップを開催した。

⑦ ☆◇2019年 現代刀職展 ～今に伝わるいにしへの技～

11月7日～11月28日（22日間） 入場者数：一般2,894名/児童生徒学生717名/計3,611名
昨年8月に東京・刀剣博物館で開催する同展の巡回展で、刀剣関係の最も権威ある全国展覧会。本展は平成21年度から山形会場として開催していたが、今回をもって終了することとなった。現代の刀工と刀職による作刀及び研磨などの入賞計30振、鐔・柄前・白銀11点を展示、全国の現代刀工・刀職たちが時代的特色や流派の特徴などを取り入れながら作刀・制作した作品の工芸美を鑑賞するとともに長い歴史に培われた日本人の美意識と今に息づく伝統の技を紹介した。東京・（公財）日本美術刀剣保存協会共催。期間中、現代刀匠と刀剣博物館学芸員による特別対談や刀身彫り実演を開催した。

⑧ ☆新収蔵品展

12月14日～R2.2月11日（45日間） 入場者数：一般1,641名/児童生徒学生257名/計1,898名
近年寄贈された絵画や書蹟の中から、郷土ゆかりの画家である加藤雪窓・小貫博堂・根上富治・真

嶋北光・太田義一・荒井篁一郎・石井弥一郎・今井繁三郎や書家の黒崎研堂・吉田苞竹・松平穆堂などの作品をはじめ、松本順・犬塚甘古など中央で活躍した人たちの作品計 40 点のほか、黒崎研堂書道関連資料(筆・硯・印章他)も合わせて出品し、郷土出身の画人や書家を顕彰した。

⑨☆和み ～致道博物館美術資料コレクションより～

2月15日～3月29日(42日間) 入場者数:一般2,723名/児童生徒学生241名/計2,964名
美術品には、人の心に働きかける様々な力がある。本展では所蔵美術コレクションの中から「和み」(ほんわか・ほっこり・じんわり・など)を伝える作品(日本画・洋画・版画・ドールハウス・郷土玩具など)429点を出品した。期間中、極小雑道具研究者によるトーク・イベントを開催。春の息吹を感じながら穏やかに芸術と向かうひと時とした。

⑩☆鶴岡雑物語(於:御隠殿)

3月1日～4月5日(36日間) 入場者数:一般2,339名/児童生徒学生231名/計2,570名
城下町鶴岡に伝わる古典雑を広く紹介し、昔ながらの日本伝統行事や文化を再認識するため、旧庄内藩主酒井家や市内旧家所蔵の江戸中期から明治時代にかけての雛人形や雑道具を出品した。寄贈された江戸後期の名工・末吉石舟作の古今雑の手入れや補修を行い、今回20年振りの公開となった。また鶴岡市内の菓子店の協力によって当地方独特の雑菓子も一堂に展示した。

(2) 個展・グループ展示事業 於:美術展示会場

①三友商会百年記念 茂野柰園書作展

8月6日～8月11日(6日間) 入場者数:一般924名/児童生徒学生93名/計1,017名
鶴岡市出身、千葉県流山市在住の日展書家。作品35点に加え、大正期に創業した生家・三友商会の収蔵品も同時公開した。期間中、茂野氏自身によるギャラリートークを開催した。

②第40回 鶴岡書道会会員展(共催)

12月1日～12月12日(12日間) 入場者数:一般702名/児童生徒学生77名/計779名
昭和8年に設立された鶴岡市にあり流派を越えて活動する書道団体。会員の作品27点とともに鶴岡市の友好都市である江戸川区の書道連盟幹部の賛助作品5点を展示した。

(3) ホール展示事業 ※主催は各団体 於:旧鶴岡警察署庁舎多目的ホール

①第16回 庄内姉様人形教室受講生作品展 10月26日～10月28日(3日間)

受講生10名が制作した作品を展示、江戸時代から伝えられてきた庄内姉様人形(紙人形)を紹介するとともに受講生の作品発表の場となった。

②第11回「砂の会」作品展 11月1日～11月7日(7日間)

加藤景一氏が主宰する「砂の会」会員5名が制作した作品計30点を展示、砂を素材にした砂絵や立体作品など個性豊かな作品発表の場となった。

③第12回 寒蘭展(鶴岡東洋蘭同好会と共催) 11月18日～11月24日(7日間)

鶴岡東洋蘭同好会の会員が育てている日本蘭と中国蘭の寒蘭約20鉢を展示、東洋蘭の清楚な美と匂いを鑑賞した。

④第15回 東洋蘭展(鶴岡東洋蘭同好会・里仁館芳蘭会と共催) R2.3月17日～3月22日(6日間)

日本春蘭と中国春蘭あわせて約 120 鉢、蘭に因む掛軸額装作品 4 点を展示鑑賞、終日、出品者の鶴岡東洋蘭同好会と里仁館芳蘭会の両会員が説明や質問に応じるなど好評を博した。

2-2 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業

企画特別展列品解説、ギャラリートーク、ワークショップ、公開実演

4月13日(土)/5月26日(日) 於:旧鶴岡警察署庁舎多目的ホール

「儀貝吉紀ドールハウスセレクション」ゲストトーク 講師:儀貝三枝子氏他 参加者 100名

4月20日(土)/6月16日(日) 於:展覧会場

「世界のYOSEGI」ギャラリートーク 講師:金子皓彦氏 参加者 50名

5月18日(土)・19日(日) 於:講座室

「世界のYOSEGI」ワークショップ 講師:篠田英治氏 参加者 40名

5月19日(日) 於:展覧会場

「世界のYOSEGI」展 記念講演会 講師:金子皓彦氏 参加者 37名

6月22日(土) 於:展覧会場

「稲田美織出羽三山写真展」ギャラリートーク 講師:稲田美織氏 参加者 52名

7月20日(土) 於:旧鶴岡警察署庁舎多目的ホール

「稲田美織出羽三山写真展」記念講演会 講師:稲田美織氏 参加者 74名

8月24日(日) 於:展覧会場

「戦国の庄内」ギャラリートーク 講師:菅原義勝主任学芸員 参加者 40名

9月7日(土)・8日(日) 於:鶴岡市立図書館2階講座室 ※戦国史研究会との共催事業

戦国史研究会 鶴岡例会(研究発表会及び記念講演会)

講演「上杉謙信と出羽庄内」講師:山田邦明氏(愛知大学教授・同会代表委員) 参加者 150名

9月29日(日) 於:旧鶴岡警察署庁舎多目的ホール

「酒井家名宝」館長講話 講師:酒井忠久館長 参加者 30名

10月14日(月/祝) 於:致道博物館構内

「酒井家名宝」&「刀剣乱舞-ONLINE-」コラボイベント 出演:おっきいこんのすけ他 参加者 250名

10月19日(土)/11月3日(日) 於:展覧会場

「酒井家名宝」ギャラリートーク 講師:本間豊学芸部長 参加者 90名

10月20日(日)/11月2日(土) 於:講座室

「酒井家名宝」はじめての刀剣講座 ～鑑賞からお手入れ方法まで～

講師:矢口秀春氏(日本美術刀剣保存協会庄内支部理事) 参加者 35名

10月26日(土)/27日(日) 於:御隠殿

「酒井家名宝」戦国ワークショップ

甲冑着用体験・特大折り紙兜・ペーパークラフト「日本の兜」制作体験 参加者 30名

11月7日(木) 於:展覧会場

「2019年現代刀職展」特別対談「日本刀の未来」参加者 30名

講師:黒滝哲哉氏(刀剣博物館学芸員他)VS 上林恒平氏(刀匠・山形県指定無形文化財保持者他)

11月10日(日)/11月17日(日)/11月24日(日) 於:展覧会場

「2019年現代刀職展」「槍の樋を彫る」実演 上林恒平刀匠

R2.2月15日(土) 於:展覧会場 参加者 65名

「和み」展 スペシャルトーク 講師 川内由美子氏(極小雑道具研究家・日本人形玩具学会理事)

※「鶴岡雛物語」展 3/7(土)スペシャルトーク、3/8(日)、3/22(日)お雛菓子づくり、
3/22(日)～4/4(土)へんしん!かわいいおひなさまは中止した。

(2) 出版事業

- ①企画特別展図録 「世界のYOSEGI 金子皓彦 寄木細工コレクション」
「戦国の庄内」 「酒井家名宝」
- ②各展覧会出品目録・リーフレット・ポスター・ポストカード等

(3) 広報事業

企画展の広報活動 各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や材協力依頼に努め、また、新聞広告や看板、インターネット（ホームページ）などを活用して周知を図った。

3. 公益目的事業 3

(事業内容～国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)の管理運営の委託を受けて、一般公開の展示や関連する教育普及活動を行う事業)

3-1 史跡旧致道館(旧庄内藩校)の保存管理活用事業

指定管理制度により、鶴岡市教育委員会との契約によって管理運営受託法人として管理運営し、国指定文化財の保存活用を図った。

(1) 施設保存管理事業

① 外構管理

除草、清掃芝刈り、生垣の剪定、樹木の剪定・整枝・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取り替え修理、洋池の清掃・浄化を行った。

② 建造物管理

講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常点検・清掃、防災設備(自動火災報知器・消火器)の保守点検を実施した。夜間及び休館日の防犯等は、警備保障会社へ委託して行っている。消防訓練は1回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。利用者の安全安心を確保するために旧致道館危機管理マニュアルの徹底を図っている。

(2) 展示事業

- ①藩校致道館の沿革・教育・制度・秩奠・施設などに関する資料を展示、随時キャプションの改訂を行った。
- ②御入間で資料理解の一助と雰囲気づくりとして致道館流「論語」の素読をBGMで流した。
- ③「庄内藩と戊辰戦争、徳の交わり」の展示を昨年度に引き続き行った。

(3) 普及教育事業

① 藩校致道館教育体験教室・講座

8月4日(日) 於:致道館 夏休み研究サポート 江戸時代の学校「致道館」を調べよう
講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 参加者数4名

② 「孔子祭・致道館の日」式典(主催:致道館文化振興会議)

9月28日(土) 於:致道館 内容/祭典・祝文奉読・論語素読・講経・講演
児童生徒論語体験作文発表会(参集殿)参加者69名

③ 研修会・講座(主催:各種団体)

4月23日 東北電力「致道館の歴史を知る勉強会と清掃活動」 8名

5月21日	鶴岡市新採教員初任者研修 主催 鶴岡市教育委員会	30名
5月24日	仙台市立仙台青陵中等学校2年生 致道館の調査研究活動	11名
6月1日	大崎市古川学園中学校1年生「致道館学習と素読」	64名
6月1日	慶應義塾大学鶴岡キャンパス「鶴岡文化論」	18名
7月23日	鹿児島市中中学生親善使節団	36名
8月1日	鹿児島市立武中学校親善訪問団	36名
8月1日	早稲田塾(富田研究室)	25名
8月4日	夏休み研究サポート事業「江戸時代の学校致道館を調べよう」	6名
8月27日	慶應義塾小中学生のための鶴岡合宿「庄内論語の素読」	43名
8月30日	慶應義塾大学庄内セミナー「致道館の教育精神と論語の素読」	23名
9月28日	孔子祭・「致道館の日」式典	84名
10月6日	表千家同門会茶会	315名
10月6日	新潟市歴史博物館ボランティア研修	22名
10月31日	鶴岡市役所新規採用職員研修	39名
11月10日	山形県立博物館ボランティア研修	23名
11月21日	県立鶴岡中央高校3年課題国語「致道館教育と論語素読」	32名
11月29日	県立鶴岡中央高校3年課題国語「致道館教育と論語素読」	41名
4月～3月	三瀬保育園「庄内論語の素読」毎月1回 年間12回 延べ215名 講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 以上受講者 計 1,079名	

※その他、4団体の行政視察、18団体が研修を実施

④学校の授業への協力

学校の授業として(「藩校致道館についての学習」と「庄内論語の素読」)活用

講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 鶴岡市内26校中15校 18学年の児童782人

⑤視察・来館者に対する藩校致道館に関する解説説明、助言相談

⑥伝統文化の継承普及イベントの共催

10月6日(日) 於:致道館 表千家同門会茶会 315名

⑦旧致道館関係書籍の頒布、特に『親子で楽しむ庄内論語』を多く頒布した。

⑧朝陽第三小学校「日本文化伝統クラブ」庄内論語の素読 講師

⑨山形大学農学部「地域から学ぶ 致道館の教育精神と学びの継承」講師

⑩広報活動

新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につ
とめ、主催事業については鶴岡市内の各学校を通じてチラシを配布して周知を図った。

3-2 大宝館の保存管理活用事業

指定管理者制度により鶴岡市教育委員会と契約を結び、管理運営受託法人として大宝館の管理
運営を行い、市の有形文化財の保存活用を図った。

(1)施設保存管理事業

①外構管理

建物(玄関)周囲の草むしり、玄関脇と県道沿いの「大宝館説明板」の清掃

②建造物並びに館内管理

- ・建物周囲点検、高山樗牛誕生の間、横光利一と千代の部屋、中田喜直ピアノ日常清掃、
防災設備(自動火災報知機・消火器)の保守点検を実施した。
- ・夜間及び休館日の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。

- ・消防訓練は1回実施し、予防・災害対策を確認した。
- ③山形県沖地震による大宝館内壁修繕工事が9月18日から11月27日まで行われた。
- ④自動火災報知設備機器更新工事が行われた。
- ⑤外用消火器が設置された。

(2) 展示事業

第42期展示(平成31年4月～令和2年3月)

① 常設展示

人物の入替は行わず、全国的に高い知名度や顕著な業績を残した32名を展示した。

② 企画展示「鶴岡の手仕事」

鶴岡の工芸品と職人をテーマとし、御殿まりの上野富美、絵蠟燭の富樫雄治、竹塗の阿部竹翁、いづめ子人形の大滝武寛の生涯を紹介すると共に鶴岡の温もりある工芸品を展示公開した。

③ 横光利一展示

6月13日から第4期「旅愁の頃」を展示した。

④ 特別展示「庄内藩戊辰の役～酒井了恒率いる2番大隊の戦い～」

9月6日から2階集会室で、平成30年度企画展で展示した戊辰戦争の展示を行った。

(3) 普及教育事業

① 「大宝館夏休みフェスタ!」の開催 8月3日(土)～8月18日(日)

・大宝館クイズラリー 期間中毎日(参加者212名)

・ローズウィンドウ ～光を楽しむ切り絵を作ろう～ 期間中の土日(参加者108名)

② 来館者への大宝館や展示人物に関する解説説明、相談助言

③ 広報活動 新聞・テレビ・コミュニティーペーパーなどの報道機関など資料提供や取材協力依頼につとめ、周知を図った。

④ その他 人物調査、関連人物情報のスクラップ

4. 収益事業1

(事業内容～入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営及び博物館関連の書籍やグッズ等の販売)

4-1 収益事業

(1) 博物館関連商品販売等事業

受付に隣接して書籍等コーナーを作って販売を行った。所蔵資料を掲載したチケットケースクリアファイルなどのオリジナルグッズを作成し販売した。

(2) その他

- ・「刀剣乱舞-ONLINE-」のコラボ企画でオリジナルコラボグッズの作成・販売や各種グッズの取り扱いを行った。
- ・企画展ごとに展示内容への興味関心を高める商品やグッズを選定し販売した。
- ・展示品に関する理解深める書籍や図録の取り扱いを行った。
- ・博物館の出入り口に当たるため、常に美化清掃・整理整頓を行い、館のイメージアップに努めた。各種事業のPRのため、SNSで情報発信などを行った。
- ・オンラインショップを開設し、各種オリジナルグッズの販売を行った。

庶 務 の 概 要

平成31年3月31日現在

1. 役員に関する事項

順不同・敬称略

役員名	氏名	備考	役員名	氏名	備考
(理事11名)			評議員	布川 敦	鶴岡市教育委員会教育長
代表理事	酒井 忠久	(公財)日本美術刀剣保存協会会長	〃	菅野 滋	(公財)山形美術館館長
理事	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会会長、前ほとりあ館長	〃	上林 恒平	刀匠・山形県指定無形文化財保持者
〃	国井 美保	株式会社価値創造研究所理事	〃	今田 安彦	(株)きりやか銀行鶴岡中央支店長
〃	酒井 天美	学校法人城南学園理事長	〃	高橋 剛文	山形県立博物館長
〃	酒井 忠順	(公財)本間美術館評議員、東北公文大評議員	〃	橋本 政之	致道館文化振興会議会長
〃	佐藤 嘉男	鶴岡市教育委員会社会教育課長	〃	早坂 剛	鶴岡市観光連盟会長
〃	田中 章夫	(公財)本間美術館館長	〃	本間 謙三	(公財)本間美術館代表理事
〃	田中 茂雄	(公財)東北振興研修所理事長	〃	小林 功	白鷹社委員長
〃	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会会長	〃	堀 誠	松ヶ岡園聖堂理事長
〃	本間 豊	(公財)致道博物館学芸部長	(監事2名)		
〃	三矢 正士	致道館文化振興会議事務局長	監事	氏家 昇一	松岡(株)代表取締役社長
(評議員15名)			〃	本間 厚	税理士
評議員	石川 真澄	田川地区高等学校校長代表(鶴岡南高校長)	(顧問3名)		
〃	石原 純一	鶴岡観光協会会長	顧問	皆川 治	鶴岡市長
〃	伊藤 博	(株)荘内銀行常勤監査役	〃	田中 尹	前鶴岡織物工業協同組合理事長
〃	大沼 賀世	県文化財審議員・寒河江市文化財審議員	〃	犬塚 幹士	前鶴岡市文化財保護審議会会長
〃	加藤 捷男	鶴岡信用金庫会長			

2. 役員会に関する事項

■理事会

開会月日	議 事 内 容	会 議 の 結 果
令和元年6月7日	(1)平成30年度事業報告の件 (2)平成30年度収支決算の件 (3)平成30年度国指定文化財管理費補助事業収支決算及び平成31年度同事業収支予算の件 (4)平成30年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設等整備事業報告の件 (5)評議員会開催の件 (6)任期満了につき理事・監事推薦の件 (7)評議員補充候補者推薦の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 了 承 了 承
令和2年2月6日	(1)平成31年度補正予算の件 (2)令和2年度事業計画の件 (3)令和2年度収支予算の件 (4)令和2年度釀文化財旧西田川郡役所屋根棟端飾り修理事業の件 (5)令和2年度重要文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認

■評議員会

開 会 月 日	議 事 内 容	会 議 の 結 果
令和元年6月26日	(1) 議事録署名人選出の件 (2) 平成30年度事業報告の件 (3) 平成30年度収支決算の件 (4) 任期満了につき理事改選の件 (5) 任期満了につき監事改選の件 (6) 評議員補充選任の件 理事会決議事項 ① 平成30年度国指定文化財管理費補助事業収支決算及び平成31年度同事業変更の件 ② 平成30年度重文旧鶴岡警察署庁舎他2棟(建造物)防災施設等整備事業報告の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 了 承 了 承

■執行役会議 毎月1回開催(4月9日、5月10日、6月6日、7月9日、8月9日、9月9日、10月16日、11月11日、12月12日、平成31年1月10日、2月1日、3月11日) 計12回

■監査 6月5日(平成30年度会計監査)

3. 申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

提出月日	宛 所	内 容	備 考
4月1日	山形県知事	平成31年度山形県博物館共催事業申請書	4月15日付で承認
〃	〃	平成31年度山形県博物館共催事業負担金交付申請書	4月5日付で交付決定
〃	鶴岡市教育委員会	平成31年度教育関係事業(致道博物館展示事業)共催承認申請書	4月1日付で承認
〃	鶴岡市長	平成31年度致道博物館展示事業共催負担金交請求書	
〃	(公財)山形県生涯学習文化財団 理事長	平成31年度文化団体等連携支援事業(展覧会事業)共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	平成31年度文化団体等連携支援助成金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	山形県知事	平成30年度国指定文化財(旧西田川郡役所)管理費補助事業実績報告書	5月10日付で交付決定
〃	〃	〃 (旧渋谷家住宅) 〃	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園) 〃	〃
〃	〃	〃 (旧鶴岡警察署庁舎) 〃	〃
〃	鶴岡市長	〃 (旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・酒井氏庭園) 〃	4月1日付で交付決定
〃	〃	平成31年度補助金等交付申請書 (平成31年度鶴岡市文化資源調査保存事業)	4月1日付で交付決定
4月2日	鶴岡市長	平成31年度鶴岡市文化財保護事業補助金交付申請書(同上)	4月2日付で交付決定
〃	山形県知事	平成31年度国指定文化財(旧西田川郡役所)管理費補助事業申請書	4月2日付で交付決定
〃	〃	〃 (旧渋谷家住宅) 〃	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園) 〃	〃
〃	〃	〃 (旧鶴岡警察署庁舎) 〃	〃

4月2日	鶴岡市長	平成31年度国指定文化財(旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・酒井氏庭園)管理費補助事業申請書	
4月15日	鶴岡市長	平成30年度補助金保存事業実績報告書 (鶴岡市文化資源調査保存事業)	
〃	文化庁長官	令和元年度文化資源活用事業補助金(観光拠点整備事業) 交付申請書(重要文化財旧西田川郡役所美観向上整備事業)	6月17日交付決定
4月26日	山形県知事	平成30年度山形県博物館共催事業実績報告書	5月28日交付決定
〃	鶴岡市長	平成30年度致道博物館展示事業実績報告書	
3月31日付にて提出	(公財)山形県生涯学習文化財団 理事長	平成30年度文化団体等連携支援事業実績報告書	5月28日交付決定
6月3日	山形県知事	平成31年度山形県文化財保護事業費補助金交付申請書 (旧西田川郡役所)	6月17日交付決定
〃	鶴岡市長	令和元年度鶴岡市文化財保護事業費補助金交付申請書	6月17日交付決定
6月5日	鶴岡市消防長	防火体制に関する意見書の提出(お願い)	6月17日意見書交付
6月27日	文化庁長官	重要文化財のき損の届出 (6月18日発生の山形県沖地震による重文旧西田川郡役所)	
〃	〃	〃 (6月18日発生の山形県沖地震による重文旧鶴岡警察署庁舎)	
〃	鶴岡市教育委員会	滅失、き損等届出書(6月18日発生の山形県沖地震による市文・ 考古資料「岡山遺跡出土品」)	
7月1日	文化庁長官	計画変更承認申請書(重文旧西田川郡役所美観向上整備事業)	9月17日審議決定
7月8日	鶴岡市長	平成31年度補助金等状況報告書(平成31年度鶴岡市文化資源調査 保存事業-7月中間報告)	
7月16日	山形県教育委員会	所在の場所変更届出書(「戦国の庄内展」に出品予定の県文 銅狛犬の件)	7月22日付で受理
7月19日	鶴岡市長	普通・行政財産借受申請書(松ヶ岡開墾場4番蚕室収蔵の開墾・ 農業関連資料、農具等の保管)	
7月19日	〃	財産貸付料減免申請(松ヶ岡開墾場4番蚕室収蔵の開墾・ 農業関連資料、農具等の保管)	
7月19日	鶴岡市消防長	消防用設備等(自動火災報知設備)点検結果報告書	
7月31日	宮城県教育委員会	所有者変更届出書(埼玉県草加市住度会光一氏寄贈の刀剣3口)	7月31日付で受理
9月2日	山形県知事	山形県文化財保護事業費補助金事業計画変更承認申請書 (重要文化財旧西田川郡役所保存修理事業)	9月17日変更決定
〃	鶴岡市長	令和元年度補助事業等変更申請書(重文旧西田川郡役所修理 事業)	9月17日変更決定
9月3日	山形県知事	令和元年度山形県インパウンド受入環境整備事業補助金 交付申請書	9月30日交付決定
〃	山形県教育委員会	所在の場所変更届(県文割高台茶碗他 計4件/「出羽国庄内藩酒井 家名宝展」に出品の為)	
9月10日	文化庁長官	計画変更承認申請書	10月18日付で承認
10月2日	山形県知事	平成31年度山形県国指定文化財(略)管理費補助事業の状況 報告	

10月8日	山形県知事	平成31年度山形県文化財保護事業費補助金状況報告書 (重文旧西田川郡役所保存修理事業)	
10月10日	鶴岡市長	平成31年度補助金等状況報告書(平成31年度鶴岡市文化資源調査 保存事業-10月中間報告)	
10月15日	文化庁長官	重要文化財の修理届(山形県沖地震被災による旧鶴岡警察署 庁舎の修理)	12月19日付で受理
10月18日	鶴岡市長	平成30年度補助金等状況報告書(平成30年度鶴岡市文化資源調査 保存事業-中間報告)	
10月19日	鶴岡市消防長	消防用施設等(自動火災報知設備他)点検報告書(史跡松ヶ岡開墾 場内、四番蚕室及び収蔵庫)	10月19日付で受理
10月28日	鶴岡市長	令和元年度補助金等交付申請書	
11月1日	鶴岡市長	令和元年度補助金等交付申請書(令和元年度鶴岡市山形県沖 地震被災文化財修復支援事業補助金事業)	
12月10日	山形県知事	令和元年度山形県インパウンド受入環境整備事業実績報告書	1月6日付で確定通知
12月20日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(今年度第1回防火訓練実施計画)	12月17日付で受付
12月27日	文化庁長官	重要美術品の所有者変更について(重要美術品・太刀無銘・ 伝三條)	
平成31年 1月5日	鶴岡市消防長	喫煙等承認申請書(重要文化財旧渋谷家住宅内の囲炉裏で火焚き 煙出し作業をするための承認申請書)	H31.1月8日付で承認
1月10日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(第66回文化財防火デー/第2回防火訓練実施 計画)	1月9日付で受付
1月10日	鶴岡市長	平成31年度補助金等状況報告書(平成31年度鶴岡市文化資源調査 保存事業-中間報告)	
1月30日	文化庁長官	令和2年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金交付 申請書-重文(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)	
2月3日	山形県教育委員会	令和元年度文化資源活用事業費補助金(観光拠点整備事業) 実績報告書(重要文化財旧西田川郡役所美観向上整備事業)	2月17日付で確定通知
〃	山形県知事	平成31年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書 (重文旧西田川郡役所保存修理事業)	2月8日付で交付確定
〃	山形県知事	平成31年度国指定文化財(旧鶴岡警察署庁舎)管理費補助 事業計画変更認申請書	2月4日付で変更認 決定通知
〃	鶴岡市長	令和元年度補助事業等実績報告書(令和元年度鶴岡市山形県 沖地震被災文化財修復支援事業補助金事業)	2月17日付で確定通知
3月22日	山形県知事	平成31年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書(国文化財4件)	5月8日付で確定通知
3月30日	鶴岡市長	平成31年度補助金等実績報告書 (鶴岡市国指定文化財管理費補助事業-国文化財4件)	4月1日付で確定通知

4. 資料貸出に関する事項

貸出期間	貸出先	使用目的と貸出資料
2月11日～5月22日	史跡藩校致道館	展示資料として白井重思筆五言詩「鳳凰五采文」 1点
4月1日～R2. 3月31日	山形県金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 18点
4月1日～R2. 3月31日	鶴岡市教育委員会	旧藩校致道館常設展示に被仰出書、版木など関係資料 31点

4月1日～R2. 3月31日	山形県立博物館	常設展示に遊佐町吹浦遺跡出土の縄文土器深鉢 1点
4月1日～R2. 3月31日	山形県郷土館「文翔館」	常設展「最上川は語る」にハネバンドリ 1点
4月1日～R2. 3月31日	(公益)日本相撲協会 相撲博物館	泉滝福治使用の化粧廻し 1点
5月23日～7月11日	史跡藩校致道館	展示資料として酒井忠発筆五絶二首「送都筑長孺帰庄内」 1点
7月1日～9月11日	本間美術館	「親子で楽しむミュージアム 絵の中の動物たち」展に、 三村常和「夏珪牧笛図写」、長沢芦雪「鶴亀図」、酒井忠器「野馬図」 計3点
7月4日～10月23日	月山あさひ振興公社	「化石水族館-水生生物多様のふしぎをひもとく」展にカルカロドン メガロドンの化石 1点
7月11日～9月30日	史跡藩校致道館	展示資料として白井重固筆一行書「道逢鞠車口流涎」 1点
7月18日～R2. 4月21日	鶴岡市立藤沢周平記念館	漆蟬、蟬マス他 計3点
8月23日～12月10日	酒田市松山文化伝承館	企画展「縄文時代の庄内展」に旧平田町高島遺跡出土の土器他計21点
8月26日～12月1日	酒田市立資料館	企画展「酒田湊と北前船-土地・もの・人の縁」に、船絵馬・望遠鏡他 計5点
10月30日～R2. 1月9日	鶴岡「サムライゆかりシルク推進協議会」 (鹿儿島市維新ふるさと館)	鶴岡・松ヶ岡開墾場にみる南洲翁の足跡「サムライのシルク展」に 「南洲翁遺訓配布回遊手帳」 1点
10月24日～10月13日	史跡藩校致道館	展示資料として酒井忠篤筆二大字「流芳」 1幅
12月2日～R2. 3月5日	山寺芭蕉記念館	企画展「山寺と紅花VI」展に、船絵馬・望遠鏡他 計4点
12月3日～R2. 2月24日	佐野美術館	特別展「名刀への道」に、重文短刀銘吉光(名物信濃藤四郎) 1点
R2. 1月5日～	史跡藩校致道館	展示資料として白井重固筆李白五絶「月下独酌四首其一」 1点
1月17日～3月 日	鶴岡アートフォーラム	「庄内の美術家たち15 稀代の文人 山口白雲」展に、山口白雲「蘭図」 他 計2点
1月30日～2月12日	トヨタカローラ山形鶴岡店	「致道博物館所蔵品展」に、山本甚作『義民が駆ける』・山口将吉郎「義経 物語」・三井永一挿絵原画他、近岡善次郎絵画名建築シリーズ計37点
1月31日～	刀剣博物館	特別展「日本刀の見方パートⅢ 刃文」に国宝太刀銘信房作 1口

5. その他

月日	主な事項
4月4日	山形県教育庁文化財・生涯学習課より平成30年度重文旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災 施設整備事業の検査
5月23日	山形県文化環境部生活文化課より会計検査(平成30年度山形県博物館事業(展覧会事業) 共催負担金)
6月4日	重文旧西田川郡役所美観整備補助事業施工業者入礼会。(株)マルゴが落札。
6月18日	午後10時18分、山形県沖地震発生、重文旧西田川郡役所・同旧鶴岡警察署庁舎の漆喰壁等に大き な被害が発生した。
7月2日	山形県沖地震による重文建造物の被害調査のため、文化庁調査官来館。
7月24日	松ヶ岡開墾場旧四番蚕室(庄内農具館)の民俗資料等の移転作業始まる。 (作業業者: 第一貨物山形支店、随時作業で9月9日まで)
8月28日	防災設備説明会開催

8月31日	刀匠会による所蔵刀剣の観賞会。
9月3日	文化財建造物技術保存協会来館、6月の地震による重文建造物被害状況及び修復調査の実施。
10月14日	おっきいこんのすけイベント実施(台風により前日のイベントは中止)。
11月11日	重文旧鶴岡警察署庁舎及び御隠殿、山形県沖地震による建物被害の修復工事始まる。
11月27日	当館防災設備の視察のため、岩手県遠野市ほか文化財建造物等所有者及び工事担当者来館。
12月27日	第1回防火訓練(避難・通報訓練) 11名参加。
H31.1月10日	重文旧渋谷家住宅内にて冬期保存活動のため「火焚き」作業開始(3月中旬まで)
1月24日	第2回防火訓練(総合訓練) 11名参加
2月16日	先賢を偲ぶ会 40名参加
2月18日	友の会世話人会 20名出席
2月27日	山形県教育庁文化財生涯学習課による公益法人調査
3月24日	YBC山形放送番組「ピヨ玉ワイド」当館から中継。「和み」展・ひな人形展・民具の蔵を取材。

資料-1 入館者数(月別)

■致道博物館

(単位:名)

月	年度	一般			学 生		小中学生	招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者		
4月	元年度	3,669	452	653	114	44	247	64	5,243
	前年度	1,889	683	452	32	41	87	68	3,252
5月	元年度	5,168	837	817	188	113	479	68	7,670
	前年度	2,957	525	580	210	256	217	78	4,823
6月	元年度	2,429	1,092	497	54	16	61	43	4,192
	前年度	2,351	1,064	578	81	42	31	67	4,214
7月	元年度	2,188	740	477	59	41	173	108	3,786
	前年度	2,357	1,081	418	49	2	102	82	4,091
8月	元年度	3,353	505	599	173	4	279	155	5,068
	前年度	3,577	648	622	168	1	288	90	5,394
9月	元年度	3,518	961	430	117	4	63	104	5,197
	前年度	5,387	768	813	346	36	255	150	7,755
10月	元年度	4,775	1,213	523	178	63	275	69	7,096
	前年度	4,704	1,495	657	176	15	395	150	7,592
11月	元年度	2,929	1,217	538	76	37	707	140	5,644
	前年度	2,699	1,065	462	70	6	619	172	5,093
12月	元年度	644	182	277	16	0	113	46	1,278
	前年度	702	76	199	16	1	160	112	1,266
1月	元年度	506	8	257	11	0	113	21	916
	前年度	448	5	333	13	0	195	36	1,030
2月	元年度	711	65	395	34	6	82	20	1,313
	前年度	558	14	305	31	2	66	20	996
3月	元年度	1,266	84	662	107	3	98	115	2,335
	前年度	1,600	226	740	79	3	93	168	2,909
合計	元年度	31,156	7,356	6,125	1,127	331	2,690	953	49,738
	前年度	29,229	7,650	6,159	1,271	405	2,508	1,193	48,415

■松ヶ岡観覧施設

(単位:名)

月	年度	一般			学 生		小中学生	招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者		
4月	元年度	166	237	198	1	40	12	77	731
	前年度	145	42	132	2	0	7	8	336
5月	元年度	226	339	126	9		22	7	729
	前年度	288	110	85	2	19	78	16	598
6月	元年度	94	242	108	47		2	10	503
	前年度	193	212	103	151	0	48	8	715
7月	元年度	86	442	84	1	5	46	0	664
	前年度	201	137	76	5	3	19	13	454
8月	元年度	150	203	147	10	9	50	1	570
	前年度	138	132	111	32	0	20	11	444
9月	元年度	155	148	91	58	0	2	2	456
	前年度	117	384	77	19	0	1	37	635
10月	元年度	99	343	126	19		38	5	630
	前年度	249	305	104	0	0	3	6	667
11月	元年度	50	338	37	2		1	1	429
	前年度	75	85	24	2	0	2	2	190
12月	元年度	21	6	14			1		42
	前年度								
1月	元年度	16		23				6	45
	前年度								
2月	元年度	25		51			2	7	85
	前年度								
3月	元年度	14		27					41
	前年度								
合計	元年度	1,026	2,292	917	147	54	173	103	4,925
	前年度	1,406	1,407	712	213	22	178	101	4,039

資料-1 入館者数(月別)

■庄内藩校 致道館

(単位:名)

月	一般	学生	幼 少 中	合 計
4月	3,090	51	143	3,284
5月	3,361	66	273	3,700
6月	1,981	27	93	2,101
7月	1,925	31	92	2,048
8月	2,607	167	190	2,964
9月	2,592	48	97	2,737
10月	2,963	23	270	3,256
11月	2,211	97	567	2,875
12月	996	8	100	1,104
1月	918	4	37	959
2月	975	42	39	1,056
3月	911	32	91	1,034
合計	24,530	596	1,992	27,118

■大宝館

(単位:名)

月	一般	学生	幼 少 中	合 計
4月	4,753	66	314	5,133
5月	3,041	33	313	3,387
6月	1,001	1	14	1,016
7月	1,166	8	43	1,217
8月	1,848	31	191	2,070
9月	1,981	9	92	2,082
10月	1,817	68	72	1,957
11月	1,283	9	36	1,328
12月	448	1	9	458
1月	414	5	16	435
2月	371	4	7	382
3月	592	7	72	671
合計	18,715	242	1,179	20,136

資料-2 致道博物館 入館者総数

年度	大人	学生	年度合計		年度	大人	学生	年度合計	
昭和25年(1950)	2,071	8,285	10,356	*1	平成元年(1989)	133,415	19,662	153,077	
昭和26年(1951)	3,015	8,485	11,500	*2	平成2年(1990)	129,968	23,337	153,305	
昭和27年(1952)	5,759	11,590	17,349		平成3年(1991)	132,502	20,541	153,043	
昭和28年(1953)	4,903	9,650	14,553		平成4年(1992)	144,907	16,031	160,938	
昭和29年(1954)	8,152	31,120	39,272		平成5年(1993)	139,841	15,437	155,278	*3
昭和30年(1955)	11,348	38,363	49,711		平成6年(1994)	148,799	21,524	170,323	*4
昭和31年(1956)	13,806	45,046	58,852		平成7年(1995)	137,810	12,269	150,079	
昭和32年(1957)	20,872	39,447	60,319		平成8年(1996)	128,017	9,907	137,924	
昭和33年(1958)	25,831	34,825	60,656		平成9年(1997)	111,874	9,177	121,051	
昭和34年(1959)	19,937	31,232	51,169		平成10年(1998)	95,757	8,166	103,923	
昭和35年(1960)	20,539	29,712	50,251		平成11年(1999)	94,071	6,701	100,772	
昭和36年(1961)	23,953	32,764	56,717		平成12年(2000)	85,280	5,819	91,099	
昭和37年(1962)	22,178	41,282	63,460		平成13年(2001)	85,185	6,051	91,236	
昭和38年(1963)	22,813	39,449	62,262		平成14年(2002)	81,599	5,173	86,772	
昭和39年(1964)	21,321	37,016	58,337		平成15年(2003)	80,043	5,887	85,930	
昭和40年(1965)	23,411	32,016	55,427		平成16年(2004)	76,051	4,585	80,636	
昭和41年(1966)	26,886	32,999	59,885		平成17年(2005)	64,682	4,490	69,172	
昭和42年(1967)	24,563	29,266	53,829		平成18年(2006)	70,779	4,016	74,795	
昭和43年(1968)	28,205	26,800	55,005		平成19年(2007)	69,941	4,538	74,479	
昭和44年(1969)	29,044	27,412	56,456		平成20年(2008)	67,036	4,688	71,724	
昭和45年(1970)	28,049	23,043	51,092		平成21年(2009)	64,518	4,423	68,941	
昭和46年(1971)	34,001	22,645	56,646		平成22年(2010)	56,525	3,429	59,954	
昭和47年(1972)	44,811	28,098	72,909		平成23年(2011)	42,758	4,421	47,179	
昭和48年(1973)	63,659	29,888	93,547		平成24年(2012)	45,525	3,476	49,001	
昭和49年(1974)	73,725	30,607	104,332		平成25年(2013)	39,145	3,065	42,210	
昭和50年(1975)	86,059	32,328	118,387		平成26年(2014)	40,557	3,250	43,807	
昭和51年(1976)	88,135	30,113	118,248		平成27年(2015)	36,373	3,420	39,793	
昭和52年(1977)	95,706	29,571	125,277		平成28年(2016)	42,174	4,137	46,311	
昭和53年(1978)	93,987	25,531	119,518		平成29年(2017)	45,676	4,914	50,590	
昭和54年(1979)	107,889	29,429	137,318		平成30年(2018)	44,231	4,184	48,415	
昭和55年(1980)	117,722	28,344	146,066		平成31年(2019)	45,590	4,148	49,738	
昭和56年(1981)	107,526	25,656	133,182		総計	4,779,473	1,340,237	6,119,710	
昭和57年(1982)	130,037	24,961	154,998						
昭和58年(1983)	131,477	24,060	155,537						
昭和59年(1984)	126,699	26,539	153,238						
昭和60年(1985)	135,574	23,802	159,376						
昭和61年(1986)	127,461	23,810	151,271						
昭和62年(1987)	123,454	22,575	146,029						
昭和63年(1988)	124,266	21,612	145,878						

*1 昭和25年6月14日開館

*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1~12/31

*3 平成6年度の事業期間は1/1~翌年3/31

*4 平成7年度以降の年度事業期間は4/1~翌年3/31

資料-3 友の会会員数

	賛助会員	特別会員	普通会員	東京賛助	東京友の会	学生会員	合計
令和元年(2019)	243	100	1,235	56	182	2,211	4,027
平成30年(2018)	233	98	1,305	62	173	2,293	4,164
増減	10	2	△70	△6	9	△82	△137

資料-4 新収蔵美術品

【寄贈】

No.	種類	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	員数	寸法(タテ×ヨコ) CM
1	絵画	石井 弥一郎	「湯野浜風景」		カンバス・油彩・額装	1点	40.0×32.0
2	絵画	石井 弥一郎	「湯田川風景」		カンバス・油彩・額装	1点	33.0×24.0
3	絵画	戸蔭 晟光	「木蓮」		紙本・着色・色紙	1点	27.3×24.2
4	絵画	斎藤 長三	「花見風景」		カンバス・油彩・額装	1点	32.0×41.0
5	絵画	酒井 忠発	宝珠の玉(画)「新論又嘉」(書)		紙本・墨書・軸装	1幅	62.3×40.2
6	絵画	岬雲・柳徳章	「雪竹図」		紙本・墨書	1幅	141.6×88.0
7	絵画	谷 文晁	「竹図」		紙本・墨画	1幅	95.3×28.0
8	絵画	川村 曼舟	「佛尊」		絹本・着色	1幅	31.5×36.3
9	絵画	堂本 印象	「糸さく羅」		絹本・着色	1幅	46.3×50.2cm
10	絵画	滝 和亭	「春蘭図」		絹本・墨画	1幅	60.2×55.3
11	絵画	高島 北海	「百合図」	大正5年 1916	紙本・淡彩	1幅	137.0×33.5
12	絵画	奥原 清湖	「梅花図」		紙本・墨画・淡彩	1幅	121.2×32.3
13	絵画	月岡 米次郎 他	錦絵「鹿兒島暴徒降参之圖」 他	江戸～明治時代	大判・錦絵・三枚組	12組	38.0×74.0
14	絵画	月岡 芳年	錦絵「真柴久吉武智主従之首實檢之図」	明治時代	大判・錦絵・二枚組	2組	36.5×49.5
15	絵画	歌川国輝	錦絵「庄内朝日嶽鶴之助」 他	明治時代	大判・錦絵・一枚もの	7枚	37.0×25.5
16	絵画	服部 二柳	山水図	昭和時代	紙本・墨画・まくり	5枚	103.0×25.0 他
17	絵画	正直	「駕籠到着図」		紙本・着色・まくり	1枚	40.0×114.0
18	書跡	酒井 忠篤	李白七言絶句「与史郎中钦聴黄鹤楼上吹笛」		絹本・墨書・軸装	1幅	118.0×28.5
19	書跡	黒崎 研堂	絶筆 七言絶句「除夜」		紙本・墨書・軸装	1幅	137.0×34.2
20	書跡	黒崎 研堂	七言絶句「詠徂徠先生之聯句」		紙本・墨書・軸装	1幅	139.0×23.5
21	書跡	黒崎 研堂	王昌齡 五言絶句「出塞行」		紙本・墨書・軸装	1幅	145.5×59.5
22	書跡	松平 穆堂	七言律詩「皇紀二千六百年」	昭和16年:1940	紙本・墨書・軸装	1幅	136.9×66.1
23	工芸	家光	脇指 銘 備前国住家光 (付) 棕櫚塗鞘内刀拵	室町後期		1口	長さ:57.9、反り:1.4、目釘1ヶ (貴重刀剣) (拵: 特別貴重小道具)
24	工芸	國維	刀 銘 豫州今治住相模守源國維 (付) 雲形文塗鞘刀拵	江戸前期		1口	長さ:71.2、反り:2.1、 目釘2ヶ、(貴重刀剣) (拵: 特別貴重小道具)
25	工芸	氏房	脇指 銘 氏房	室町末期		1口	長さ:53.2、反り:1.4、 目釘1ヶ
26	工芸		脇指 無銘			1口	長さ:36.6、反り:0.9、 目釘1ヶ
27	工芸	上林 恒平	太刀銘 上林恒平迄/ 昭和辛酉秋吉祥	昭和56年(1981)		1口	長さ:71.6、反り:1.7、 目釘1ヶ
28	工芸	兼吉	薙刀 銘 兼吉	室町時代		1口	長さ:46.4、反り:2.7、目釘2ヶ 全長26.5
29	工芸		槍 無銘(平三角形)	江戸時代		1口	刃長:12.5、全長26.5
30	工芸	池田一秀(2代)	脇差銘出羽國庄内住池田一秀 天保十二年十一月日	天保12年1841		1口	長さ:45.4、反り:2.7、 目釘穴1ヶ
31	工芸	池田一秀(2代)	脇差銘池田一秀 天保十三年八月日 付:黒塗脇差拵	天保13年1843		1口	長さ:44.7、反り:1.4、 目釘穴1ヶ
32	工芸	池田一秀(3代)	刀 銘羽州庄内住一英 元治元年九月日 付:刀拵	江戸末期		1口	長さ:70.1、反り:1.7 目釘穴1ヶ
33	工芸	桂野 赤文	鐔 銘遊洛齋赤文 下地榮寿	江戸末期		1枚	楕円形:7.2×6.9
34	工芸	月山 正信	短刀銘 月山正信 天文二年八月日	天文2年1533		1口	長さ:26.4、反り:無 目釘穴 1ヶ、(特別貴重刀剣)
35	工芸		刀 無銘(金房 政次)	室町後期		1口	長さ:70.9、反り:2.0 目釘穴3ヶ、(貴重刀剣)
36	工芸		脇指無銘(外装付き)	江戸時代		1口	長さ:35.8 反り:0.6 目釘穴1ヶ
37			槍無銘(平三角形)			2口	刃長:13.2 全長:42.0 他
38	工芸		弓			1振	長さ:213.5
39	工芸		継ぎ庄内竿(三間)			1本	
40	書籍	黒崎 研堂	『黒崎研堂日誌 自明治五至昭和三』	明治5年～昭和3年	紙本・墨書・和綴本	56冊	
41	書籍	上野 源太夫	『松雲居夜話草稿』(15冊)、 『松雲居詩稿』(5冊)、『鳳山樓詩稿』(8冊)	江戸末期～明治期	紙本・墨書・和本綴じ	28冊	25.0×17.0～18.3
42	その他		高野栄長収集考古資料 附考古資料記録誌			1括	
43	その他		武士火事装束胸当(酢漿草紋付)	江戸時代	長さ:54.5、巾27.7	1着	長さ:54.5、巾27.7
44	その他		景流居合免許状/同系図	江戸時代	紙本・墨書・卷子	2巻	
45	その他		古文書・和本・拓本・メダル類	江戸～大正時代		1括	

※絵画:17件/書跡:5件/工芸(刀剣他):17件/書籍(和本):2件-84冊/その他:4件 合計 69件